



**【生涯学習講座・地域連携講座】智頭の中世講座  
・座学編・山歩き編・**

中世日本の社会や智頭の山城について知る講座を開催します。

座学編では、日本の中世社会について概説することにも、智頭の中世山城や町内に残された古文書から地域史を紐解きます。山歩き編では、智頭の山人塾と連携して、シヤウノ尾城など那岐地区の中世山城へ出かけます。(急な斜面や足場の悪い道歩く場合があります。)

●座学編「中世日本の中の智頭」

【日時】 8月31日(土)  
午後2時～3時30分

【会場】 智頭町総合センター  
2階 情報交流室

【講師】 山本隆一朗さん  
(鳥取県立博物館)

【対象】 どなたでも

【募集人数】 30人

【参加費】 無料

【申込締切】 8月30日(金)

●山歩き編「智頭の谷と城郭をあるく・那岐」(智頭の山人塾連携講座)

【日時】 9月23日(月・祝)

午前9時30分～午後3時

【集合場所】 旧那岐小学校駐車場

【講師】 山本隆一朗さん  
(鳥取県立博物館)

山本 福壽さん  
(智頭の山人塾・杣塾)

【対象】 小学生以上  
(小中学生は保護者同伴)

【持ち物等】 野外活動のできる服装(長袖・長ズボン)、

歩きやすい靴、水筒、弁当、

手袋、帽子

【募集人数】 15人

【参加費】 無料

【申込締切】 9月19日(木)

【申込先】 智頭町総合センター  
1階 事務室

【生涯学習講座・地域連携講座】  
森の地下で何が起きているのか?  
トビムシと落ち葉から見た世界

私たちが森の土を踏みしめた時、その足下には、約8万匹の生きもの(土壌動物)が暮らしていると言われています。また、彼らは落ち葉の分解に関わることで森を縁の下で支えています。目に見えない森の地下の世界を、最近の研究成果も交えながらご紹介いたします。顕微鏡を使った、土壌動物の代表種「トビムシ」探し体験も行います。

【講師】 川上えりかさん  
(九州大学大学院生物資源

環境科学府博士後期課程、智頭の山人塾、ちぐさ研究室)

【日時】 8月25日(日)  
午前10時～正午

【会場】 智頭町総合センター  
2階 情報交流室

【参加費】 無料

【定員】 15人

【対象】 小学5年生以上

【締切】 8月22日(木)

【申込み先】 智頭町総合センター  
1階 事務室

智頭の林業景観シンポジウム  
「くらしと風土が育てる文化的景観」が開催されました。

国の重要な文化的景観に選定されている「智頭の林業景観」について、智頭の林業景観保存整備委員会主催のシンポジウムが6月15日(土)総合センターで開催されました。

シンポジウムでは2人の講師から、智頭町でこれまで行、林業や地域の人々の生活・生業によって育まれた景観の形成についての講演がありました。

また、これらの講演をふまえ、翌日には芦津集落の見学が行われました。両日とも多数の人に参加いただきました。教育委員会では、今後も「智頭の林業景観」について広く知っていただけるよう、企画を行っていく予定です。



シンポジウム



芦津見学

申込・問合せ先 教育課 (総合センター) ☎75-3113・3114